



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 静甲株式会社
 コード番号 6286 URL <http://www.seiko-co.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 鈴木 恵子
 (氏名) 鈴木 武夫

TEL 054-366-1106

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,611	18.7	△19	—	22	—	200	—
29年3月期第1四半期	5,568	3.2	△150	—	△111	—	△107	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 272百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △189百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	31.15	—
29年3月期第1四半期	△16.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,371	13,488	62.5
29年3月期	20,221	13,130	64.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 13,349百万円 29年3月期 13,130百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	9.6	110	—	150	284.6	220	—	34.21
通期	31,000	6.8	600	0.2	690	0.1	590	43.7	91.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名)日本機械商事株式会社(本社:大阪府大阪市中央区)

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	6,483,323 株	29年3月期	6,483,323 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	56,629 株	29年3月期	52,529 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	6,430,749 株	29年3月期1Q	6,430,804 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境、設備投資が改善するなど緩やかな回復基調が続いている一方で、海外経済は中国などの新興国の景気減速や欧米の政治リスクに対する警戒感の高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、「顧客対応力の充実を図る」を方針として掲げ、「人づくり」「仕組みづくり」「ものづくり」を重点課題として定め、各事業において施策を推進しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、車両関係事業では新型車の販売が好調に推移し、電機機器事業は需要の持ち直しにより堅調に推移したため、それぞれ前年同期の実績を上回りました。産業機械事業及び冷間鍛造事業も前年同期の実績を上回りました。

これらの結果、当社グループの売上高は、前年同期比18.7%増の66億1千1百万円となりました。利益面では、売上高の増加により経常利益は2千2百万円（前年同期は1億1千1百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の連結子会社化に伴う段階取得に係る差益8千万円及び負ののれん発生益8千9百万円を特別利益に計上したため2億円（前年同期は1億7百万円の損失）となりました。

〔産業機械事業〕

主要な販売先である食品やトイレタリー業界をはじめとして、設備投資が増加傾向にあり、大型機の売上が増加し、小型・中型機も堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は前年同期比20.8%増の8億8百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比15.5%増の6千4百万円となりました。

〔冷間鍛造事業〕

自動車部品は前期に受注した新規製品が増産となり堅調に推移したため、前年同期の実績を上回りました。電動工具部品及び事務機・産業機械部品も前年同期の実績を上回りました。これらの結果、売上高は前年同期比26.7%増の4億1千5百万円、セグメント利益（営業利益）は、売上高の増加により、前年同期比261.4%増の2千5百万円となりました。

〔電機機器事業〕

主力のFA関連機器は、自動車関連をはじめとして設備投資の需要が回復傾向にあり、堅調に推移したため前年同期の実績を上回りました。冷熱機器及び設備機器も前年同期の実績を上回り、空調機器は前年同期並みで推移しました。これらの結果、売上高は前年同期比19.6%増の11億2千2百万円、セグメント利益（営業利益）は、利益率の改善により前年同期比100.8%増の5千5百万円となりました。

〔車両関係事業〕

新車販売は、前期に投入された新型インプレッサおよび平成29年5月に発売された新型XVの売上が好調に推移し、また、サービス部門は整備入庫台数が増加したことにより、それぞれ前年同期の実績を上回りました。中古車販売及び輸入車販売は、前年同期並みの実績となりました。これらの結果、売上高は前年同期比17.9%増の42億3千6百万円、セグメント利益（営業利益）は2千4百万円（前年同期は6千3百万円の損失）となりました。

〔不動産等賃貸事業〕

売上高は、前年同期比25.6%減の2千7百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比25.5%増の1千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社は当第1四半期連結会計期間において、持分法を適用しない関連会社であった日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市）の株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。当該株式取得に伴う連結の範囲の変更や産業機械事業での受注の増加等を主因として、資産、負債、及び純資産がそれぞれ増加しております。

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、213億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4千9百万円増加いたしました。この内、流動資産は102億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千7百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少5億6千3百万円、仕掛品の増加5億3千2百万円、商品及び製品の増加3億6千1百万円によるものであります。

固定資産は110億8千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億3千2百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の時価評価等による増加2億1千3百万円によるものであります。

負債合計は78億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千1百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加2億5千万円、賞与引当金の減少1億8千3百万円、借入金の増加5億9千2百万円によるものであります。

純資産合計は134億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千8百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加1億4千8百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年8月9日付当社「特別利益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,347,361	3,602,560
受取手形及び売掛金	3,436,320	2,872,564
電子記録債権	122,212	275,801
商品及び製品	1,127,540	1,489,418
仕掛品	818,643	1,350,735
原材料及び貯蔵品	19,870	20,607
その他	612,968	691,581
貸倒引当金	△12,503	△13,715
流動資産合計	9,472,412	10,289,554
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,000,499	2,968,508
土地	3,346,094	3,346,094
その他(純額)	1,370,449	1,480,120
有形固定資産合計	7,717,044	7,794,724
無形固定資産	162,366	147,963
投資その他の資産		
投資有価証券	2,502,187	2,715,738
その他	367,335	427,557
貸倒引当金	△256	△4,460
投資その他の資産合計	2,869,265	3,138,836
固定資産合計	10,748,676	11,081,524
資産合計	20,221,088	21,371,079
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,496,210	2,746,498
短期借入金	172,512	302,508
未払法人税等	141,403	27,144
賞与引当金	420,201	236,703
製品保証引当金	51,368	53,410
資産除去債務	8,103	6,554
その他	1,827,809	1,922,763
流動負債合計	5,117,608	5,295,583
固定負債		
長期借入金	907,444	1,369,945
役員退職慰労引当金	148,018	223,752
退職給付に係る負債	74,701	106,806
資産除去債務	66,692	66,836
その他	775,825	819,352
固定負債合計	1,972,681	2,586,694
負債合計	7,090,289	7,882,277

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,070,576	3,070,576
利益剰余金	8,862,430	9,011,365
自己株式	△28,623	△31,588
株主資本合計	12,004,383	12,150,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,126,415	1,198,923
その他の包括利益累計額合計	1,126,415	1,198,923
非支配株主持分	-	139,524
純資産合計	13,130,798	13,488,801
負債純資産合計	20,221,088	21,371,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,568,186	6,611,287
売上原価	4,500,814	5,319,803
売上総利益	1,067,372	1,291,484
販売費及び一般管理費	1,218,258	1,310,683
営業損失(△)	△150,886	△19,199
営業外収益		
受取利息	12	5
受取配当金	35,677	33,619
その他	14,207	19,887
営業外収益合計	49,897	53,511
営業外費用		
支払利息	1,772	2,029
売上割引	7,619	9,326
その他	1,534	451
営業外費用合計	10,926	11,807
経常利益又は経常損失(△)	△111,916	22,504
特別利益		
固定資産売却益	-	351
段階取得に係る差益	-	80,600
負ののれん発生益	-	89,177
特別利益合計	-	170,128
特別損失		
固定資産除却損	365	334
特別損失合計	365	334
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△112,281	192,299
法人税等	△4,920	△8,081
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△107,360	200,381
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△107,360	200,381

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△107,360	200,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,507	72,507
その他の包括利益合計	△82,507	72,507
四半期包括利益	△189,867	272,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△189,867	272,889
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、持分法を適用しない関連会社であった日本機械商事株式会社（本社：大阪府大阪市中央区）の株式を追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を当第1四半期連結会計期間の末日（平成29年6月30日）としているため、貸借対照表のみを連結しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算方法

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。